

取付上のご注意

ハイブリットエアサス装着前に必ずお読みください。

ご質問が多いのは、ダンパー下部のブラケット(ボトムケース)を上下させると車高も上下しますか？

というのですが、ボトムケースを上下しても車高の変化はありません。

理由は純正のエアサス制御を使用するため、車高は各サスペンションのロアアームにある「車高センサー」の位置(ロアアームの角度)によって決まります。ハイブリットエアサスは純正のエアサスよりもショートストロークになっていますので、無闇に全長を短くし尚かつエアサスで車高を上げた場合、ショックが伸びきっているにも関わらず車高センサーは「まだ車高が上がっていない」と認識。車高を上げようとエアサスポンプが回りっぱなしになり、破損の原因になりますのでくれぐれもご注意ください。

(フロント側125mmストローク、リア105mmストローク)ではどのようにして調整すれば良いか？

ハイブリットエアサスを装着後、走行する車高プラス40mm程車高が上がるようにボトムケースを廻し調整してください。右に回すとショック長が短くなり、左に回すと長くなります。走行車高より高く設定する理由は、走行時沈み込んだ後、再び車体が戻るため車高より若干余裕を持たせなければショックが伸びきって乗り心地悪化につながるためです。



ポイント1

例えば走行する車高で、フェンダーがタイヤに被るか被らないか位の場
合、画像と同等の位置まで車高が上がる様にセットしてください。



装着が終わったらもう一度各部を点検しエアサスパイプをつなぎ、エンジンをかけてエアを入れます。しばらくするとエアサスポンプが作動し車高が上がります。(ポンプはフロントバンパー内右側) 車高が上がったら必ずエアサスポンプが停止していることを確認してください。

繰り返しますが、走行する車高に対してショックが短すぎると、ショックが伸びきっているにも関わらず車高を上げようと

ポンプが作動し、ポンプが破損する恐れがありますので十分注意してください。

車高調整はロアアームにあるロッドで行います。センサー位置を下げると車高が上がり、上げると車高が下がります。調整は調整方法は難しくありませんが、経験のある方をお願いします。

また、エアサスコントローラー装着の場合、コントローラーでの車高調整も可能です。

装置後ボトムケースを回しショック長を調整したい場合は、必ず各ショックのエアを抜いてから左右を上げて作業をしてください。片側ずつではスタビライザーが効いて作業を妨げます。特にフロント側は車体が沈み込んだ際、フェンダー等に干渉する場合がありますので、その場合はショック(ボトムケース)を伸ばしてください。

減衰力調整は左に回すとソフト。右に回すとハードになる20段調整式です。左右は必ず同じ位置に合わせてください。

(前後は別々でも可)

ショックとエアパイプを切り離す際、LS460/600、セルシオ31、マジェスタ17、18系は「品番09730-00010」¥1,400円程度の特典工具が必要になります。(セルシオ11/21、マジェスタ14/15系は、14mmのスパナで切り離します。



LS460/600、セルシオ31、マジェスタ17、18系に必要な専用工具「品番09730-00010」